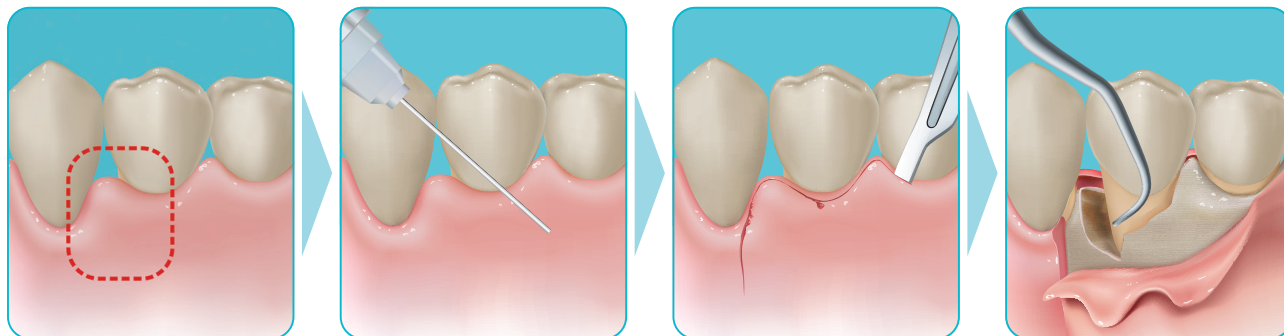


# 歯肉剥離搔爬手術時の リグロス投与方法の概略

リグロス®

- 1 凍結乾燥品を溶解液で用時溶解し、調製後は速やかに使用すること。
- 2 スケーリング及びルートプレーニング等により、歯槽骨の骨内欠損部に付着した肉芽組織を除去し、歯根面に付いた歯垢や歯石を十分に除去する。

## 術前



歯周ポケットの深さ4mm以上  
骨欠損の深さ3mm以上の  
垂直性骨欠損

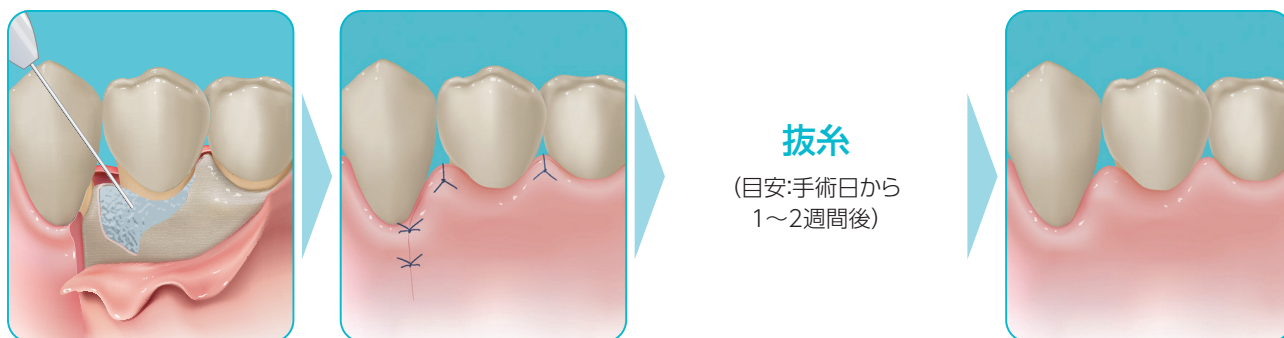
局所麻酔

歯肉の切開

歯肉の剥離・翻転  
スケーリング・ルートプレー  
ニング

- 3 滅菌生理食塩液で十分に洗浄する。最終洗浄後は歯根面を唾液又は血液で汚染しないように注意する。
- 4 本剤は欠損底部を起点にし、歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

## 治療後



歯槽骨欠損部へのリグロスの塗布

縫合

抜糸  
(目安:手術日から  
1~2週間後)

### <参考>

エナメルマトリックスデ  
リパティブ(EMD)対照比  
較試験(検証的試験)にお  
ける塗布量別の歯数分  
布は右表のとおりでした。

塗布量	塗布量別の歯数分布					
	歯数	1歯	2歯	3歯	4歯	5歯
0.2mL以下		45	8	2	0	0
0.2mL超0.4mL未満		17	4	3	0	0
0.4mL		9	7	7	6	2

単位:例数  
リグロス®歯科用液キット  
600µg:0.2mL  
リグロス®歯科用液キット  
1200µg:0.4mL

- 5 広範囲を安定して縫合するのに適した縫合材を用いて縫合を行う。縫合時、歯間部を歯肉弁で完全に覆い、隙間なく緊密に密着させる。その際、本剤塗布後の創面は歯肉弁によりできる限り被覆する。縫合時に本剤が溢れ出た場合には、速やかに除去すること。なお、縫合後に本剤の漏出が懸念される場合には、歯周包帯(非ユージノール系)を使用してもよい。